

報 告

第 42 回国際福祉機器展 H. C. R. 2015

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 理事
the Light on Design Project 金井 謙介

1. はじめに

周知のとおり「国際福祉機器展 H.C.R.」は日本最大の福祉機器の総合展示会である。第 42 回を迎える 2015 年も 10 月 7～9 日に東京ビッグサイト東展示ホールで開催され、119,075 人が来場された。本稿では当協会の担当理事として出展の報告をするとともに、これまでの経緯と今後の展望について述べる。

2. 当協会の出展経緯

当協会では 2004 年から福祉機器コンテスト受賞作品の展示と表彰式開催を目的として出展を再開し、今回に至るまで 12 年連続で出展している。当初出展する中で、来場者から当協会に関する質問も多かったため、事業紹介や出版物の頒布などの協会全体の広報に展開し、さらに出展社ワークショップも開催するようになった。2014 年からは子ども広場で車椅子講習会も開催している。出展は協会の広報的側面もあるが、協会内にある情報・技術等を協会員外にも広く普及・移転していく公益活動でもある。また、コンテスト作品を当協会ブースで展示することは小さな企業等にとって大きな応募動機となっており、こうした場で小さいけれども有用な機器を拾い上げ広く伝えていくことも、当協会の大きな役割である。

3. H.C.R. 2015 への出展

H.C.R. 2015 では、ブース内で福祉機器コンテスト 2015 入賞作品の展示及び SIG などの協会事業紹介、出版物の頒布等を行った。また、当事者と専門家の立場から褥瘡について考える当協会ならではの出展社セミナーを開催し、立ち見が出るほど盛況を博

した。さらに、特別協賛のフランスベッド株式会社池田社長ご臨席のもと福祉機器コンテスト 2015 表彰式も執り行い、多くの方に受賞者を祝福いただいた。



図 1 H.C.R. 2015 当協会ブースの様子

4. 今後に向けて

ブース来場者の認知度やセミナーの成果を見ると、今後も継続出展する意義は大きく、また当協会の目的からも日本最大の福祉機器展に出展する必要性は高い。しかし、H.C.R. に来場できる人は限られているのもまた事実で、そうした方への情報・技術等の普及・移転も重要である。それには協会が各地域へ出向いていく必要があるが、昨今、各地域で精力的に開催されている福祉機器展に協会が参加・協力していくことで実現の可能性がある。それにより各地域でのこの分野の活性化に貢献でき、かつ新たな協会員の獲得や地域に当協会が根付いていくことにつながるだろう。2014 年度から高知福祉機器展に協力しているのもその一環である。そのためには、今後全国に設置される地域支部との協力・連携が重要であるが、すでに関西や九州で支部と連携して出展しており、その経験を踏まえて各地域に当協会が参加できる方法や体制づくりを検討していきたい。

Resja / the Light on Design Project

〒 581-0834 大阪府八尾市萱振町 1-16-1-703